



ICTを活用する時代がやってきた!?

新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。でも、高齢者の接種がなかなか進まないようです。問題はいろいろあるようですが、予約の電話が繋がらないことも遅れている原因の一つになっています。インターネット予約なら比較的すぐに予約できるのですが、高齢者はネットに不慣れな方も多くいらっしゃる。そりゃそうです、高齢者は若い頃ネットの勉強なんてしてないのですから。

GIGA スクール構想という名のもと、タブレット端末が児童に1台ずつ貸し出されました。今の子どもたちが大人になる頃には、パソコンやタブレット端末などの ICT 機器の利用が不可欠になっていることは、まず間違いないでしょう。仕事だけでなく、ワクチン接種のように命に関わることまで、ICT 機器が使えないと不利になることが、さらに起きそうです。タブレット端末の教育的効果については、今後検証されていくことと思いますが、現時点で言えるのは、子どもたちの食いつきは間違いなくいいです。学校では今後タブレット端末を積極的に使っていきますし、機会を見て家庭への持ち帰りも進めていきます。

先日、半田市から「タブレット端末等借用申請書 兼 同意書」なる重々しい文書が配られ、ぎょっとされた方もいらっしゃるかと思います。大切な税金を使って購入したタブレットですから、市としてきちんと同意書を取ることは当然のことだと思います。ただ文書だけ読むと「うちの子、よく物を壊すから大丈夫だろうか…」などと心配になる保護者もいらっしゃるようです。その同意書の趣旨は、学校では次のことを子どもたちに指導しながらタブレット端末を使用するので、保護者の方も同意してくださいということだと考えます。

- ①タブレットを使って、学校や家でいろんな勉強をしましょう。
- ②タブレットは、大切にやさしく使いましょう。
- ③タブレットの調子が悪いとか故障かなと思ったら、すぐ先生に言いましょう。
- ④インターネットは使い方を間違えると、お金がかかったり危険な目にあったりすることがあるので、先生や家の人の言うことをよく守って使いましょう。

物を大切にすることや人権を守ることなどは、タブレット端末の使用に限らず大切なことです。ご家庭でも同じようにしつけられていると思いますので、ご理解の上、同意書を提出していただければ良いと思います。

ご家庭でワクチン接種の予約で困っている高齢者がいらっしゃったら、乙川小のお孫さんに頼んでみてはどうでしょう。乙川小の子たち、結構やりますよ。



【本当にあったうそみたいな話】

1歳5か月になる私の孫は、アンパンマンが大好きです。なので、私が子守り(孫守り?)をするときには、よくアンパンマンの絵本やビデオを見せます。先日、ちょっとトイレに行こうと、近くにあった娘のスマホ画面がアンパンマンの写真だったので、そのスマホを孫に渡して場を離れました。トイレから帰ってスマホを見ると、それはメルカリのアンパンマンのぬいぐるみの出品画面で、な、なんと私がトイレに行ってる間に購入しているではありませんか!!もちろん、字は読めないで適当に赤い部分をタップしていたら偶然購入できちゃったんですが、子どもの ICT 機器に対する好奇心というか抵抗感のなさには1歳の子でも実証されたって感じです。
※アンパンマンのぬいぐるみは速攻キャンセルしました。

再びオンライン朝礼に

今年度は始業式や4月当初の朝礼は、体育館に子どもたちを集めて行っていました。しかし、愛知県にまん延防止等重点措置が出て以来、教室でのオンラインに切り替えました。放送室のパソコンと各教室の先生方のタブレットを zoom でつなぎライブ放送をしています。

5月29日から4週間、教職を目指す大学生が教育実習にやってきました。良い機会なので、オンラインで自己紹介してもらいました。実習生に聞くと、大学では今年もオンラインでの講義が多いそうです。それもあってかオンラインには慣れているようで特技の楽器演奏を聴かせてくれるなど堂々とした自己紹介でした。



3年3組で実習する学生さん



4年3組で実習する学生さん

ご家庭の Wi-Fi 環境は？

先日、教育委員会から家庭の Wi-Fi 環境の調査するメルマガが各家庭に届いたと思います。家庭でのタブレット利用を視野に入れての調査だと思います。メルマガからアンケート調査に答えられなかったご家庭には、改めて紙面での調査がありますので、ご協力ください。

家庭へのタブレット端末の持ち帰りには、Wi-fi 環境だけでなく、まだまだ検討の余地がありそうです。本校では、学校と家庭との両方での有効な活用方法をもう少し検討しますので、持ち帰りにはもうしばらく時間をください。

おっかわいね♡

だめな

タブレットの使い方 の巻

